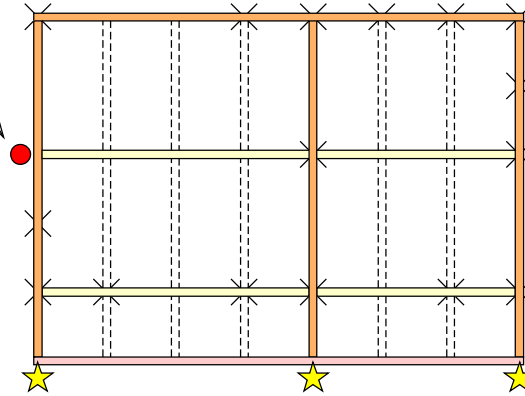
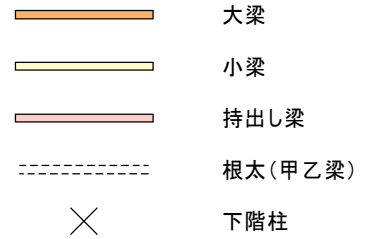


荷重分布図の書き方

I

- ①
 スパン途中で小梁を受けるヶ所に
 ●印を付ける
 ※小梁とは仕口の勝ち側の梁

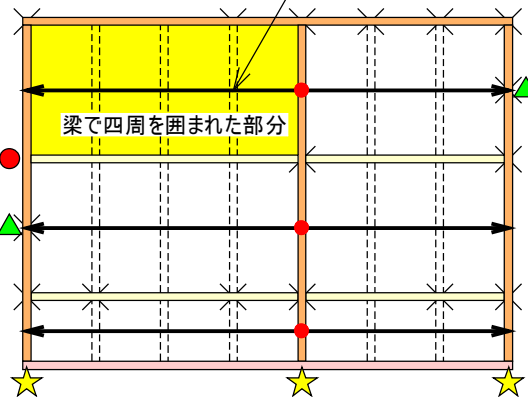


- ②
 持出し梁の先端に★印を付ける

II

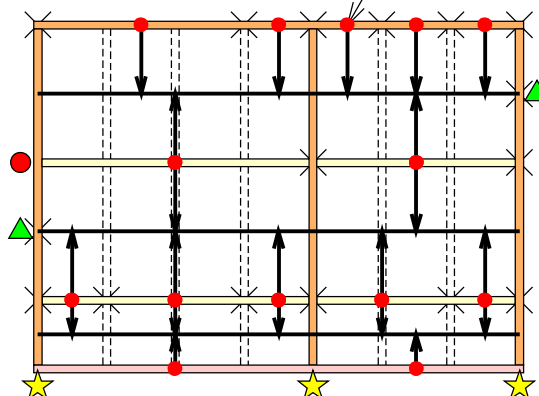
- ①
 梁で四周を囲まれた区画ごとに根太(甲乙梁)と
 直行方向に区画を2等分する位置に境界線を引く

- ②
 引かれた境界線の端部が、柱位置の
 場合は▲印を付ける



III

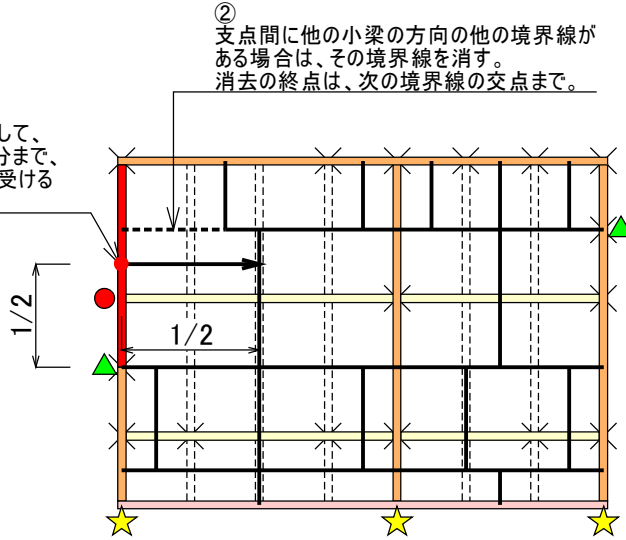
- ①
 根太(甲乙梁)を受ける全ての梁について
 梁のスパン中央を始点として、根太方向へ
 境界線を引く
 終点はIIで引かれた境界ラインとする。



荷重分布図の書き方

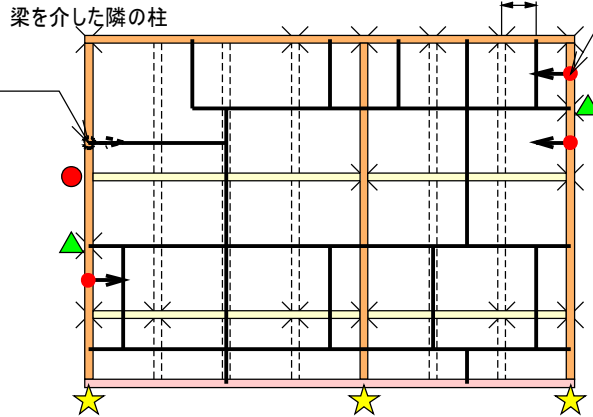
IV

① 印の梁のスパン中央を始点として、小梁方向に、小針のスパンの半分まで、境界線を引く。(両側から小梁を受ける場合は、両側)



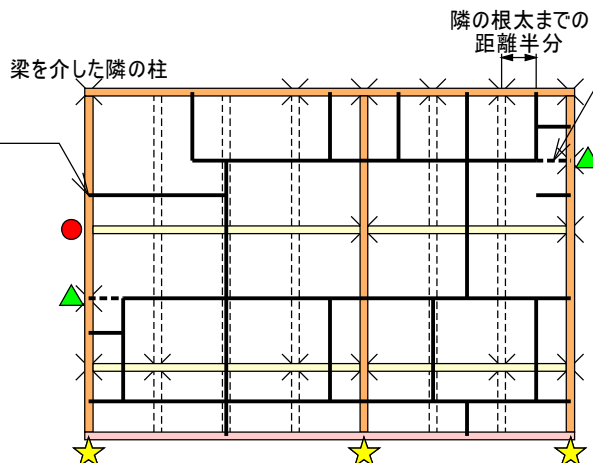
V

② 梁を介して隣の柱の手前に●印がある場合は、その境界線を引かない。



VI

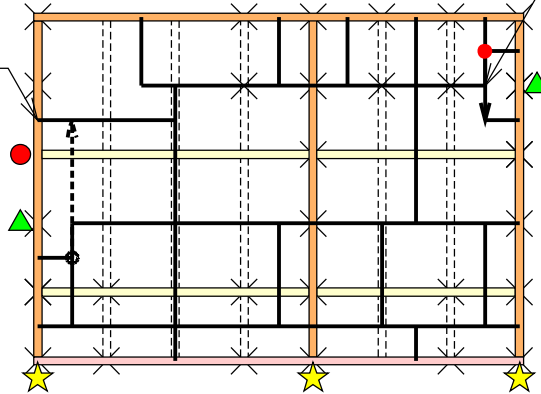
② 梁を介して隣の柱の手前に●印がある場合は、その境界線を引かない。



荷重分布図の書き方

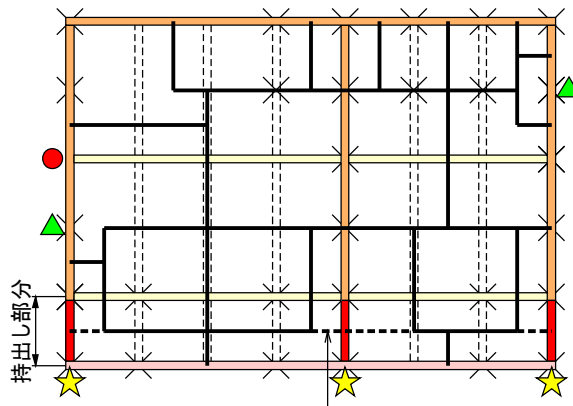
VII

②
V-1の終点と、V-2の終点を結ぶ線が存在しないので境界線は引かなくても良い。



①
VIの終点と、VIの終点を結ぶ境界線を引く。
※当該所に概に線が引かれてる場合もある。

VIII



①
印の付いた持出し梁の持出し部分に直行する境界線を消す。
消去の終点は次の境界線の交点まで。

IX

外壁ラインを書いて完成

